

財界九州

1

Since 1958. 九州・沖縄の「時流」を知る総合情報誌

No.1144

九州・沖縄
2020年 **展望**

NEW YEAR TOP INTERVIEW SPECIAL

銀 | 観 電 首
長 選

行 R 光 力 選

「現職優勢」の熊本、鹿児島県知事選
「東京オリパラ」効果に期待かかる
「信用コスト」重く先行きは不透明

農 業

「働き方改革」

「コスト増」で経営への影響不可避

「テレワーク」定着へ

「5G」

「個人視聴率」が本格導入

「ビジネスに大変革もたらす」

「柔軟に働ける」

「一休みの農産品輸出が再び」

「加速」



九州経済連合会 会長
麻生 泰氏



九州地方知事会 会長
広瀬 勝貞氏



九州商工会議所連合会 会長
藤永 憲一氏



九州市長会 会長
森 博幸氏



九州経済同友会 代表委員
貫 正義氏



九州大学 総長
久保 千春氏

<http://www.kyushu01.com>

Nakayama Mineo

中山 峰男

崇城大学 学長

KYUSHU
OKINAWA
TOP
FILE

2020

九州・沖縄を担うトップ群像

MEMO

- 1947年9月22日生まれ
- 熊本市出身
- 熊本大工学部卒

積水化学工業勤務を経て80年崇城大に転じ、2003年12月君が淵学園理事長とともに現職。日本私立大学協会九州支部長。19年に発足した熊本eスポーツ協会代表理事にも就任。「若い人には楽しくゲームできる環境、高齢者には新たな生きがいの場を提供できれば」と笑み。

「学生の上に火をつける、再建学習施設」



熊本地震からの「創造的復興」が進む中、キャンパスが被災した本学も、施設再整備に精力を傾けた。外国人講師が常駐する英語学習施設「SILC（シルク）」をリニューアルしてカフェなどを新設する一方、アクティブラーニングの拠点となる「SoLA（ソーラ）」を新築。学生の活動拠点となる、明るく洗練された環境を提供できた。学生

たちが伸び伸びしている姿を、とても喜ばしく思う。

SILCを積極的に活用した学生たちは、英語力を高めている。パイロットを目指す航空操縦学専攻の学生がTOEICで800点を取るといった成長も見られた。

20年はAI・IoT時代への対応に力を注ぐ。情報学部情報学科を「未来情報コース」「知能情報コース」

「電子通信コース」の3コースに刷新。スクリプト言語Python（パイソン）のプログラミングなど情報技術の最先端分野を学ぶことが可能となる。一方では、ARやVRの実験ができる「AI・IoTセンター」を設置し、SILC同様、全学生に活用してもらう。

今後も「学生の上に火をつける」環境を整え、教育にまい進したい。